

「ものさし」の話, その一部の「想像温度による「住みこなし」の診断」について

1. 「ものさし」の話

歴史と距離, 環境と時間 あるいは, 長さの「ものさし」と時間の「ものさし」

→2022年7月17日実施のサマーカレッジのスライドから

→→もとは, 2022年3月29日実施の「第22回佐賀大学コミュニティデザインカフェ」での講演「環境と時間と距離」のスライドから

2. 小学児童による教室内の温熱環境評価に関する研究

以下の文献を参照。ほとんどが, 辻原作成のホームページ (辻原と研究室の業績リスト)

(<https://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/gyouyear.html>) にリンクあり。もしくは, ダウンロード可能。

2009年度の調査の成果 (プロトタイプ, 研究の方法の基本形, 温度手帳の導入)

- [1] 町口賢宏, 斉藤雅也, 辻原万規彦: ヒトの温熱的快・不快と想像温度・実際温度-札幌と熊本の小学児童を対象にして-, 平成22年度空気調和・衛生工学会学術講演会 (山口) 講演論文集, pp. 2259～2262, 2010.9
- [2] 町口賢宏, 斉藤雅也, 辻原万規彦, 鈴木信恵, 宿谷昌則, 羽山広文: 札幌と熊本の小学児童の温熱的不快と想像温度・実際室温, 日本建築学会北海道支部研究報告集, 第84号, pp. 293～296, 2011.7

2010年度の調査の成果 (万歩計の導入, ライフスタイルの把握の試み, 児童の「環境認識」のプロセスの把握)

- [3] 町口賢宏, 斉藤雅也, 辻原万規彦, 鈴木信恵, 宿谷昌則, 羽山広文: 札幌と熊本の小学児童の温熱的不快と想像温度・実際室温, 日本建築学会北海道支部研究報告集, 第84号, pp. 293～296, 2011.7
- [4] 町口賢宏, 斉藤雅也, 辻原万規彦, 鈴木信恵, 宿谷昌則, 羽山広文: ヒトの温度感覚と環境調整行動に関する研究 その6. 札幌と熊本の小学児童の温熱的不快と想像温度, 日本建築学会大会 (関東) 学術講演梗概集, D-2, pp. 41～42, 2011.8

2011 年度の調査の成果（百マス計算の導入、学習効率の把握の試み、児童の「環境認識」と環境調整行動へのプロセスの把握）

⇒2011～2013 年度は科学研究費補助金「小学児童の夏・冬の閾値温度の地域比較研究」によるプロジェクト

- [5] 斉藤雅也，秋成妹，辻原万規彦，町口賢宏：熊本と札幌における小学児童の温熱的不快・想像温度・授業への集中度合い-その1 温熱的不快と想像温度-，日本建築学会九州支部研究報告，第51号・2〔環境系〕，pp.121～124，2012.3
- [6] 秋成妹，斉藤雅也，辻原万規彦：熊本と札幌における小学児童の温熱的不快・想像温度・授業への集中度合い-その2 授業への集中度合いと想像温度-，日本建築学会九州支部研究報告，第51号・2〔環境系〕，pp.125～128，2012.3
- [7] 秋成妹，斉藤雅也，辻原万規彦：熊本と札幌における夏季の小学児童の想像温度・温熱的不快・授業への集中度 その1. 想像温度と授業への集中度，日本建築学会大会（東海）学術講演梗概集，D-2，pp.249～250，2012.9
- [8] 斉藤雅也，秋成妹，辻原万規彦，町口賢宏：熊本と札幌における夏季の小学児童の想像温度・温熱的不快・授業への集中度 その1. 温熱的不快となる外気温・実際室温・想像温度，日本建築学会大会（東海）学術講演梗概集，D-2，pp.247～248，2012.9

2012 年度の調査の成果（先生の温熱環境評価の導入，教室の環境「形成」のプロセスの把握）

- [9] 緒方理子，斉藤雅也，辻原万規彦，酒田健，宿谷昌則：熊本と東京ならびに札幌における小学児童と温熱的不快・想像温度，日本建築学会九州支部研究報告，第52号・2〔環境系〕，pp.333～336，2013.3
- [10] 斉藤雅也，辻原万規彦，緒方理子，酒田健，宿谷昌則：真冬の教室における小学児童の想像温度と温熱的不快の関係-札幌・東京・熊本の比較-，日本建築学会大会（北海道）学術講演梗概集，D-2，pp.317～318，2013.8
- [11] 緒方理子，斉藤雅也，辻原万規彦，酒田健，宿谷昌則：熊本と東京および札幌における小学児童と教員の温熱的不快・想像温度，日本建築学会大会（北海道）学術講演梗概集，D-2，pp.319～320，2013.8
- [12] 斉藤雅也，辻原万規彦，緒方理子，酒田健：小学生の想像温度と暑熱不快・寒冷不快に関する研究 2012 年夏・秋の札幌・東京・熊本を事例として，日本建築学会大会（近畿）学術講演梗概集，D-2，pp.467～468，2014.9

※2013 年度はお休み（辻原が4ヶ月台湾出張のため）

2014 年度の調査の成果（環境調整行動の把握，児童の環境「調整」のプロセスの把握，学習の
効果の把握）

⇒2014～2016 年度は科学研究費補助金「小学児童の想像温度に基づく地域住育プログラムの開
発研究」によるプロジェクト

- [13] 斉藤雅也，谷川愛美，辻原万規彦：熊本と札幌における小学児童の夏の温熱的不快・想
像温度-小学児童の想像温度に基づく地域住育プログラムの開発研究（1）-，日本建築
学会九州支部研究報告，第 54 号・2 [環境系]，pp. 237～240，2015. 3
- [14] 谷川愛美，斉藤雅也，辻原万規彦：熊本と札幌における小学児童の温熱環境の認識力と
調整力-小学児童の想像温度に基づく地域住育プログラムの開発研究（2）-，日本建築
学会九州支部研究報告，第 54 号・2 [環境系]，pp. 241～244，2015. 3
- [15] SAITO Masaya and TSUJIHARA Makihiko : Thermal Adaptation of Elementary Students in
Summer by Cognitive Temperature Scale -In the case of Sapporo and Kumamoto-, 日本建築学
会大会（関東）学術講演梗概集（選抜梗概），D-2，pp. 471～474，2015. 9

2015 年度の調査の成果（暑熱「不快」度の把握，暑熱「不快」度と環境調整行動の関係，ライ
フスタイルと温熱環境認識の関係）

- [16] 黒田静香，斉藤雅也，辻原万規彦：熊本と東京における児童の教室内での暑熱不快度と
環境調整行動の関係-小学児童の想像温度に基づく地域住育プログラムの開発研究（3）
-，日本建築学会九州支部研究報告，第 55 号・2 [環境系]，pp. 285～288，2016. 3
- [17] 斉藤雅也，辻原万規彦：小学生の想像温度・暑熱不快・環境調整行動に関する研究-2015
年夏の熊本・東京を事例として-，日本建築学会大会（九州）学術講演梗概集，D-2，
pp. 521～522，2016. 8

※2016 年度は平成 28 年度熊本地震のため，調査をお休み

その後の検討の追加

- [18] 斉藤雅也，辻原万規彦：ヒトの熱環境適応と想像温度に関する考察，日本建築学会大会
（中国）学術講演梗概集（選抜梗概），D-2，pp. 33～36，2017. 8
- [19] 斉藤雅也，辻原万規彦：ヒトの想像温度の形成プロセスに関する考察，日本建築学会大
会（東北）学術講演梗概集（選抜梗概），D-2，pp. 269～272，2018. 9
- [20] 斉藤雅也，辻原万規彦：気象・天候情報と暑熱不快履歴による想像温度の形成プロセ
ス，日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集，環境工学，pp. 765～766，2024. 8

- [21] 齊藤雅也, 辻原万規彦, 齊藤美佳: ヒトの想像温度による夏季の暑熱不快感の地域特性
札幌・東京・熊本の小学校教室・児童を対象として, 日本建築学会環境系論文集, 第 90
巻, 第 832 号, 9 頁, 2025. 6 (資料として添付)

※2017 年度は, 大学生を対象とした調査を開始 (屋外と室内を行き来した時の温熱環境評価)

※2018 年度は, 「季節」の匂いと「季節」の音

2019 年度と 2020 年度の調査の成果 (「温度想像力」の養成, 大学院生が主導した修士研究)

⇒2019～2022 年度は科学研究費補助金「地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度に
よる診断」によるプロジェクト

⇒札幌・福山・熊本の 3 か所での調査に拡大, 大学生に対象を変更

- [22] 原大介, 中村きらら, 辻原万規彦, 伊澤康一, 齊藤雅也: 夏季の気候特性や熱的履歴が
想像温度に与える影響～札幌・福山・熊本における被験者実験～, 日本太陽エネルギー
学会講演論文集 (2019), pp. 254～257, 2019. 10

- [23] 伊澤康一, 難波陸, 秋山駿太, 中村きらら, 原大介, 中谷航平, 齊藤雅也, 辻原万規
彦, 岡本孝美: 室内熱環境における「温度想像力」養成に関する研究～福山における夏
季・秋季調査～, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 43 巻, pp. 365～368, 2020. 2

- [24] 中村きらら, 原大介, 中谷航平, 齊藤雅也, 辻原万規彦, 伊澤康一, 岡本孝美: 室内熱
環境における「温度想像力」養成に関する研究～札幌・福山・熊本における夏季と秋季
の被験者実験～, 日本建築学会九州支部研究報告, 第 59 号・2 [環境系], pp. 257～
260, 2020. 3

- [25] 中谷航平, 中村きらら, 原大介, 廣林大河, 伊澤康一, 辻原万規彦, 齊藤雅也: 住まい
手の「温度想像力」養成に関する研究-その 1 札幌・福山・熊本における夏季・秋季・冬
季の熱的感覚と想像温度-, 日本建築学会大会 (関東) 学術講演梗概集 (選抜梗概), 環
境工学, pp. 1143～1146, 2020. 9

- [26] 中村きらら, 中谷航平, 原大介, 廣林大河, 伊澤康一, 辻原万規彦, 齊藤雅也: 住まい
手の「温度想像力」養成に関する研究-その 2 夏季・秋季・冬季の想像温度に対する自
信心度-, 日本建築学会大会 (関東) 学術講演梗概集 (選抜梗概), 環境工学, pp. 1147～
1150, 2020. 9

- [27] 齊藤雅也, 辻原万規彦, 伊澤康一, 中谷航平, 中村きらら, 廣林大河, 原大介: ヒトの
温度想像力と夏の住みこなしに関する考察, 日本建築学会大会 (関東) 学術講演梗概
集, 環境工学, pp. 1293～1294, 2020. 9

- [28] 伊澤康一，中村きらら，中谷航平，廣林大河，斉藤雅也，辻原万規彦，岡本孝美：室内熱環境における「温度想像力」養成に関する研究～福山における冬季・春季調査～，日本建築学会中国支部研究報告集，第44巻，pp. 325～328，2021. 3
- [29] 中村きらら，中谷航平，廣林大河，斉藤雅也，辻原万規彦，伊澤康一，岡本孝美：熱環境における「温度想像力」養成に関する研究～札幌・福山・熊本における2019年夏季と2020年夏季の被験者実験～，日本建築学会九州支部研究報告，第60号・2〔環境系〕，pp. 245～248，2021. 3
- [30] 中村きらら，中谷航平，廣林大河，伊澤康一，辻原万規彦，斉藤雅也：熱環境に対する「温度想像力」養成の検証-2020年春季・夏季の被験者実験-，日本建築学会大会（東海）学術講演梗概集（選抜梗概），環境工学，pp. 1093-1096，2021. 9
- [31] 斉藤雅也，辻原万規彦，伊澤康一，中村きらら：地域の気候風土を活かす「住みこなし」のための想像温度による検証，第50回熱シンポジウム「建築熱環境を考える～これまでの50年とこれからの50年～」，日本建築学会，pp. 59～62，2021. 10

2021年度の調査の成果（「住みこなし」の実態，日記やインタビューによる把握）と2022年度の調査の成果（「住みこなし」と睡眠の関係）

- [32] 山田采果，藤田千尋，豊澄潤，辻原万規彦，岡本孝美，伊澤康一，斉藤雅也：地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その1．夏季夜間の環境調整行動，熱環境・睡眠の満足度と心・体の疲労度，日本建築学会中国支部研究報告集，第46巻，pp. 435～438，2023. 3
- [33] 藤田千尋，豊澄潤，山田采果，辻原万規彦，岡本孝美，伊澤康一，斉藤雅也：地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その2．過去・現在・未来の温度想像力と熱環境・睡眠の満足度、心・身体疲労度，日本建築学会中国支部研究報告集，第46巻，pp. 439～442，2023. 3
- [34] 豊澄潤，藤田千尋，山田采果，伊澤康一，辻原万規彦，岡本孝美，斉藤雅也：地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その3．札幌・福山・熊本における夏季の想像温度と実際温度の差異と経日変化，日本建築学会中国支部研究報告集，第46巻，pp. 443～446，2023. 3
- [35] 斉藤雅也，伊澤康一，辻原万規彦，岡本孝美：地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その4．現在・過去・未来の想像温度の地域特性，日本建築学会大会（近畿）学術講演梗概集，環境工学，pp. 579～580，2023. 9

- [36] 伊澤康一，斎藤雅也，辻原万規彦，岡本孝美：地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その5．夏季の起床後・就寝前における想像温度と実際温度の相対差への気象影響，日本建築学会大会（近畿）学術講演梗概集，環境工学，pp.581～582，2023.9
- [37] 伊澤康一，斎藤雅也，辻原万規彦，岡本孝美：地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その8．札幌・熊本における夏季の想像温度と実際温度の相対差に及ぼす個人差・気象影響，日本建築学会中国支部研究報告集，第47巻，pp.443～446，2024.3

3. 参考 URL

- [1] 札幌市立大学デザイン学部 斎藤雅也先生の研究室
<https://faculty1.scu.ac.jp/msaito/>
- [2] 北海道大学大学院工学研究院 建築環境学研究室
<https://sites.google.com/eis.hokudai.ac.jp/kankyoku6/home?authuser=0>
- [3] 福山大学工学部 伊澤康一先生の研究室
<https://www.fukuyama-u.ac.jp/course/eng/architecture/isawa-kouichi/>